

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	スタッフワークショップ2	
科目基礎情報							
開設学科	演劇スタッフ科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時限数	240時限
単位数	8単位					授業形態	実習
教科書/教材	必要時、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。教材、機材は教室内のものを使用する。						
担当教員情報							
担当教員	森岡重樹・寺嶋陽子・山本浩二・鶴巻一弘・山田岳史			実務経験の有無・職種	有・舞台スタッフ		
学習目的							
後期は、照明・音響・舞台監督・大道具・装置デザイン・小道具のセクションから専門的に学ぶ分野を選択する。学生が各セクションに分かれたのちは、再びそのぶんやのスタッフワークを基礎から学び、確認をする。前期のローテーション実習の段階よりも、各自の進路についてより具体的なイメージを持つことにより、就職活動に結びつける。文化祭において舞台スタッフとしての取り組み、1年次のまとめとしての修了公演に向け、より実践的にスタッフワークを学ぶ							
到達目標							
後期のはじめには文化祭が行われるため、実習とはいえ、学生がより実践的なスタッフワークを身につけ、年度末には、外部からの方々に足を運んでもらい一般の方々にも公演をみてもらう修了公演が控えており、声優演劇科とのコラボレーションで行われる本番に向けスタッフワークの基礎を落とし込み、1年生のみのグループによる修了公演を円滑に進められるようにする。同時に次年度に向け就職にたいする意識も向上させる							
教育方法等							
授業概要	希望セクションに分かれて、より専門的な実習となる。各セクションの2年生との交流も始まり、授業内だけでなく、身近に知識や技術を習得することも出来る。業界における仕事の進め方を学び、プロとしての意識を高める。						
注意点	希望セクションを選ぶ際にしっかりとした情報収集を行い、よりストレスのないセクションに行く。同時に業界研究、企業研究も行い、就職に対する意識も高める。専門的な実習なので1日の授業で実習内容がかなり展開する場合もあるので。欠席や遅刻に十分気をつける。作業しやすい服装・実習ジャンパー着用。アクセサリははずし、長い頭髮はまとめる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	実習課題	60%	各セクションの実習を、落とし込んでいるか。課題を総合的に評価する				
	修了公演	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する。1年次の総まとめ				
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1週～15週）							
後期に入り希望別6セクションに分かれての実施（大道具・照明・音響・舞台監督・小道具・デザイン）							
	授業内容			各回の到達目標			
1週（2回）	顔合わせ、自己紹介、ガイダンス			各セクションの講師、2年生との顔合わせ。名前などを覚える。各分野の説明と前期の振り返り			
2週（2回）	基礎振り返り 1			分野別用語基礎			
3週（2回）	基礎振り返り 2			分野別用語応用			
4週（2回）	実機取扱い 1			分野別実機取扱い			
5週（2回）	実機取扱い 2			分野別実機取扱い応用			
6週（2回）	模擬仕込み 1			分野別模擬仕込み基礎			
7週（2回）	模擬仕込み 2			分野別模擬仕込み応用			
8週（2回）	秋季発表1			作品解釈・デザイン打ち合わせ			
9週（2回）	秋季発表2			素材制作・きっかけ打ち合わせ			
10週（2回）	秋季発表3			仕込み・本番・撤収			
11週（2回）	修了公演1			デザイン打ち合わせ・稽古立ち合い・プラン作成			
12週（2回）	修了公演2			稽古立ち合い・プラン作成・素材制作			
13週（2回）	修了公演3			稽古立ち合い・プラン作成・素材制作			
14週（2回）	修了公演4			プラン作成・素材制作・最終打ち合わせ			
15週（2回）	修了公演5			仕込み・リハーサル・本番・撤収・合評会			